



有明臨工地帯造成へ第一歩 (2月)



高校急増対策進む。3工業高校も開校 (4月)



新産都市指定 (7月)



長雨の災害にも負けず、農産物1割増産へ(7月)

# 県政ハイライト

## —1963— 県政1年のあしあと



熊本職業訓練所新築、職種も増加 (6月)



球磨川沿岸道路工事進む (7月)



移動県政相談・天草をはじめ各地へ (7月)

### 資料

#### 労働力

ため二〇MW二基の発電所及びコーキング工場建設の計画があり、発電原価は二円五十銭前後と推定される。

■中学卒 昭和三十七年度の卒業生四万二千七百八十人のうち就職者数は一万五千八百四十二人三二・一%である。さらに県内、県外比をみると県外が多く五二・五%の八千六百四十人となっている。就職先では愛知県が最も多く二千五百六十三人、次いで大阪府二千二百八十八人、岐阜県がこれに次いでおり三県合わせて五十九%となっている。

昭和37年新規学卒者進路状況

種別	卒業生数			進学者数			就職者数			進路未決定者		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
中学校	21,807	20,973	42,780	11,778	10,473	22,251	7,827	8,015	15,842	2,202	2,485	4,687
高等学校	8,754	7,504	16,258	1,421	935	2,356	5,600	4,242	9,842	1,733	2,327	4,060
計	30,561	28,477	59,038	13,199	11,408	24,607	13,427	12,257	25,684	3,935	4,812	8,747

■高校卒 卒業生数一万六千二百五十八人のうち就職者数は九千八百四十二人、県内県外別にみると、四九・二%が県外で、中卒と異なり、若干県内就職率が高い。府県別にみると、大阪府が最も多く一千八百八十二人、次いで東京、福岡、愛知の順となる。

#### 資源

■地下資源 本県の地質構造は複雑で多種多様の地下資源があり、県北の有煙炭、天草の有煙炭、石炭石、砂鉄、陶石、マンガン、蛇紋岩、砥石、硫化鉱、褐鉄鉱などの賦存がみられ、阿蘇地域の地熱開発も、八幡製鉄がボーリング調査中である。

■農産資源 米、麦中心の農業から果樹、園芸、畜産をとり入れた営農型態に転換されつつある。昭和三十六年度の農業生産額は五百四十七億円、うち米、麦、雑穀は二百八十五億円で全体の五二・一%をしめ、次いで畜産の八十二億円、そま七十五億円、なたね、たばこ、い草等の工芸作物五十億円、果樹三十五億円、養蚕二十億円となっている。

■水産資源 海面漁業生産は天草西海岸に最も多い。昭和三十六年一万八千二百二十トン、魚種別にみると、かたくちい

わし、まあじ、むろあじ、さば等で、まき網、巾着網によって漁獲されている。貝類はあさり、はまぐりが九千二百六十一トンで、有明海沿岸の重要な資源である。

■森林資源 林野面積は約四十七万haで、県総面積の六十四%を占め、うち民有林が四〇・三万haであって蓄積量二千三百九十万<sup>3</sup>mを有し全国屈指の林業県である。

■鉱物資源 石炭石、砂鉄、陶石、マンガン、蛇紋岩、砥石、硫化鉱、褐鉄鉱などの賦存がみられ、阿蘇地域の地熱開発も、八幡製鉄がボーリング調査中である。

資源名	推定埋蔵量(千トン)	昭36年生産量(トン)	資源名	推定埋蔵量(千トン)	昭36年生産量(トン)
有煙炭	229,000	586,400	石灰石	4,700,000	746,701
無煙炭	73,947	414,968	蛇紋岩	357,800	19,249
鉄	1,500	50,000	ドロマイト	80,000	8,379
砂鉄	52,000	127	陶石	23,400	59,050

種目	単位	昭36年生産量	昭45年目標	種目	単位	昭36年生産量	昭45年目標
水	トン	297,020	340,943	甘藷	トン	359,772	450,000
小麦	トン	97,565	84,000	みかた	トン	54,178	126,197
とうもろこし(乾)	トン	48,518	20,000	なな	トン	9,713	20,800
あわ	トン	4,856	6,000	乳牛	頭	19,550	40,000
大豆(乾)	トン	7,738	9,000	和牛	頭	97,994	120,000
		9,000	18,000	豚	頭	97,126	170,000

■後記  
いよいよオリンピックの年、希望にみちた一九六四年がはじまります。広報くまもと編集スタッフとしても、気分を新たに仕事と取り組むたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ところで、今度再度本誌のことに付いて各方面から問合わせがありましたのでこの機会に「広報くまもと」のアウトラインについて記してみたいと思ひます。

▲目で見ると「広報くまもと」V  
■表紙 特アト 一三五〇K  
■グラビア頁 アト 九〇〇K  
■本文 上質 七〇〇K  
■印刷部 七、五〇〇部  
■主なる配布先  
市町村役場、公民館、小中学校、各協同組合、農研グループ、青年団、婦人会、県政モニター、報道機関、各官公署その他(「ずれもグレイ」トリーノールによる配布)

■発行責任者 広報課長 大井 健司  
編集担当 栗崎 英男  
同 右 渡辺 澄夫  
写真担当 柴田 賀之  
同 右 松本 真一

【訂正】第一六七号四百グラビアの「天草の秋」のうち、「秋風ふる」は「秋雨ふる」の誤りでした。